

学年	教科	科目	教科書名
中2	国語	国語	新しい国語2 (東京書籍) 中学生の書写二 (三省堂)

1. 授業のねらい

- ・国語の基礎として、漢字・語彙・文法・修辞表現や用語などの知識を身につけます。
- ・さまざまな文章の読解や授業での取り組みを通して、「読む・書く・話す・聞く」能力を養います。
- ・RST（リーディング・スキル・テスト）を受け、現時点での文章読解力を確認して今後の学習につなげます。
- ・文章読解力を『しっかり読解 読みトレ』を活用し向上させ、全教科に通ずる日本語を正確に読む能力を養います。
- ・「聞き書き」作業（ディクテーション）を通じて国語力の向上を図ります。
- ・ことわざに慣れ親しみ、物の見方考え方を身につけ、表現に活用できる能力を養います。

2. 授業のすすめ方

- ・教科書の本文を中心に、資料集やデジタル教材などを適宜利用し、発問を交えながら授業を行います。
- ・授業開始5分間程度、漢字練習や語彙習得の時間を設け、漢字や語彙の定着を図ります。
- ・各単元や定期考査などで、自分で表現を添削しながら40字作文を書く作業を行います。
- ・文章読解力、ことわざ、聞き書き（ディクテーション）能力を向上させるトレーニングを適宜実施します。

3. 学習上の留意点

- ・授業中に黒板に書かれたことだけではなく、興味を持った言葉や考えをノートに記録することを心がけてください。
- ・漢字小テストを実施するので、計画的に準備して試験に臨んでください。（平常点として評価されます）
- ・授業で学習した部分は何度も正確に音読して、意味のわからないところは辞書で調べておきましょう。
- ・授業では積極的に意見を発表し、アクティブラーニングの時間には仲間と意見交換を積極的に行っていきましょう。
- ・平素から様々なことを鵜呑みにせず、自分の考えの前提や根拠などを説明できるように意識していきましょう。

4. 副教材・参考文献

- ・『新・国語の便覧』（正進社） ※ 授業・予習・復習・発展学習に使用。（3年間使用） 継続
- ・『解いて覚える中学生の文法』（とうほう） ※ 授業・予習・復習・発展学習に使用。（3年間使用） 継続
- ・『3回書き込み式標準漢字演習』（とうほう） ※ 小テストの出題範囲として使用。（3年間使用） 継続
- ・漢字練習ノート ※ 授業・自習用に使用。1冊終了後はプリントシートを使用。 継続
- ・『ことわざ検定4級・5級対応ガイドブック』 ※ 授業・自習用に使用。 継続
- ・『しっかり読解 読みトレ』 ※ 授業・自習用に使用。 継続
- ・夏期休暇の課題（予定）
- ・必要に応じて各種プリント並びにデジタル教材（スタディサプリー等）を配布または使用します。

5. 評価の視点・テスト・課題等

- ・スタディサプリーなどで確認した知識も定期考査に反映させた上で評価に組み込みます。
- ・定期考査、小テストから客観的に評価し、そこに平常点が組み込まれます。
- ・漢字小テスト（上記副教材参照）は平常点に換算して評価に組み入れます。
- ・漢字練習ノートの提出及び達成度は平常点に反映されます。
- ・ロイロノートやClassiで課した宿題等も平常点に反映されます。

6. 定期考査

- ・教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容を中心に出题します。
- ・試験に際しては、教科書の説明で使用したプリントや資料集、デジタルコンテンツなどについても学習をしてください。
- ・全ての定期考査に文法、読みトレ、ディクテーション、ことわざ、作文の出题があります。

<出題分野>

- 1学期中間考査… 韻文・説明的文章・文法・漢字・語句・文章表現
- 1学期期末考査… 小説・説明的文章・文法・漢字・語句・文章表現
- 2学期中間考査… 古典・説明的文章・文法・漢字・語句・文章表現
- 2学期期末考査… 古典・韻文・小説・文法・漢字・語句・文章表現
- 学年末考査 … 説明的文章・韻文・文法・漢字・語句・文章表現

※ 状況によって変動がある場合があります。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	《詩（巻頭詩）》 《言葉の学習》 1 言葉を感じる 《言語感覚》 《詩歌創作》	小テスト 提出物 デジタルコンテンツ 定期考査 漢字練習ノート	・詩の意味を捉え、読み方を工夫し音読する。 ・キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉える。 1 ・短歌の表現の工夫を捉え、鑑賞したことをまとめる。 ・自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。
	5	《日本語探検1 話し言葉と書き言葉》 《漢字道場1 形の似た漢字》 2 感想を深める 《文学一》 《学びの扉1 人物像を捉える》	適宜CBTによる漢検受験を 推奨する	・話し言葉と書き言葉の違いについて理解する。 ・形が似ている漢字について違いを調べ、理解する。 2 ・ものの見方や考え方について自分の考えを持つ。 ・場面展開や表現方法について自分の考えをまとめる。
	6	《学びの扉2 相手の立場を踏まえ、 考えを深める》 《聞く》 《日本語探検2 敬語》 《漢字道場2 他教科で学ぶ漢字(1)》		・多様な考え方に触れ、自分の考えを深める。 ・表現の仕方や根拠の確かさに注意して聞き、考える。 ・敬語の分類三種類について理解する。 ・他教科で学ぶ語句で用いる漢字について理解する。
	7	3 伝え方を工夫する 《学びの扉3 情報を図や表に整理する》 《構成・展開》 《伝達》 《文法の窓1 用言の活用》 《漢字道場3 漢字の意味》 《読書への招待1》		3 ・情報の整理の仕方を理解し、情報を図や表に整理する。 ・文章の全体と部分の関係に注意して、内容を読み取る。 ・テーマを決め、調査して、自分の考えを書く。 ・動詞の活用を理解する。 ・漢字における類義語・対義語・多義語を理解する。 ・本で世界を広げる。 1学期 RST 実施予定
二 学 期	9	4 説得力を高める 《今味・判断》 《学びの扉3 論証の説得力を見極める》 《論証・説得》 《話す》	小テスト 提出物 デジタルコンテンツ 定期考査 漢字練習ノート	4 ・論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。 ・論証の説得力について考える。 ・根拠を明確にして自分の意見を書く。 ・説得力のある提案をする。(プレゼンテーション)
	10	《文法の窓2 助詞》 《漢字道場4 同訓異字》 5 伝統文化を味わう 《古文 随筆》 《古文 物語》 《漢文》		・助詞の学習をする。 ・同訓異字の学習をする。 ・伝統的な日本語の調子について学習する。 5 ・古文随筆に触れて、ものの見方や表現の仕方を捉える。 ・古文表現の特徴に注意して描かれた状況を読み取る。
	11	《通信・手紙》 《文法の窓3 助動詞》 《漢字道場5 他教科で学ぶ漢字(2)》		・漢文の表現に注意して朗読し、漢詩を味わう。 ・依頼状・礼状などを語句の使い方に注意して推敲する。 ・助動詞の学習をする。 ・他教科で学ぶ語句で用いる漢字について理解する。
	12	6 描写を味わう 《文学二》 《描写・表現》 《日本語探検3 類義語・対義語》 《読書への招待2》 《毛筆 行書》		6 ・人物の言葉や行動に着目してその人物像を捉える。 ・人物像が伝わるよう、言葉や行動・態度などを描き出す。 ・類義語と対義語について理解する。 ・本から必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめる。 ・文字の大きさ間隔などを意識しバランスよく書く。
三 学 期	1	毛筆 書き初め展 7 効果的に表現する 《言葉とメディア》 《学びの扉4 質問する・反論する》 《話し合う》	小テスト 提出物 デジタルコンテンツ 定期考査 漢字練習ノート	・書写展書き初め提出 2月ことわざ検定 4級取得 7 ・事実の述べ方で印象が変わることについて考える。 ・発言や論証を吟味し、質問したり反論したりする。 ・多様な立場や意見を想定し、長所・短所を出し合う。
	2	《学びの扉5 想像を誘うよう表現する》 《感性・想像》 《漢字道場6 同音異義語》		・描き方を工夫して、想像を誘う表現をする。 ・描写や心情などを工夫して物語を作る。 ・同音異義語の学習をする。
	3	《詩（詩の言葉）》		・韻文表現を味わう。 ・本の世界を楽しむ。

※ 状況によって変動がある場合があります。